

まほろば



2023
第237号

新年度を迎えて



昨年2022年4月当院は弘前総合医療センターとして新たなスタートを切りました。そして今満一年が経過します。

当院が設立される契機は、2014年の国の地域医療構想の制度化に基づき青森県の具体的構想が策定されたことに遡ります。その中で津軽地域医療圏に関しては高度専門医療、救急医療、災害医療、医療従事者育成などを担う中核病院の設立が提言されました。これに従い青森県、弘前市、国立病院機構、弘前大学の四者による基本協定締結の下、弘前市立病院と国立病院機構弘前病院の再編により当院が開設する運びとなった訳です。

基本協定では当院の果たすべき役割も多く定められましたが、そのうち特に重要なものは高度医療の提供と救急医療の充実です。

高度医療の提供が充分に行えているかどうかについては病床利用率が指標となります。二次医療の必要な患者さんがどの程度紹介されるか、すなわち地域の医療機関からどの程度信頼されているかを代弁するからです。しかし、コロナの第7波、第8波に晒されて病床を十分に活用できない期間も長く、年間の平均病床利用率は約80%でした。今後の7対1看護体制を見据えて病床利用率85%以上を目標として活動していく予定です。

もう一つの役割である救急医療も、コロナの第7波、第8波の間は救急車が連なり対応困難な時期がありました。その影響で現在までの平均応需率は97%に留まりましたが、それ以外の時期はほぼ全例の応需を果たし昨年度の1.5倍の救急車の受入を達成しています。今後は救急部スタッフの充実を図り圏域の二次救急の軸として活動していきたいと思えます。

当院の歩むべき道は当院の構想が作成された当初から定まっています。開院二年目もその道の上を着実に進めるよう、職員一同努めていきたいと考えています。

弘前総合医療センター院長：大熊 洋揮



看護学校入学式

4月7日、本校の講堂において71回生の入学式が行われました。今年度の式典は、3年ぶりに来賓を招待し、3学年のみではありますが上級生も参加し校歌合唱でき、入学生40名（男子学生3名含む）を迎えることができました。

大熊学校長からは、『看護師を目指した時の心を持ち続ければどんな困難にも打ち勝つことができる』というお言葉をいただきました。個々、それぞれ看護師を目指した理由は異なりますが、初心の志を忘れず何事にも挑戦しながら勉学に励んで欲しいと思います。

弘前総合医療センターは今春2年目を迎えるとともに、当校も校名変更となり2年を迎えます。新カリキュラムとなり、より地域に求められる看護職になれるよう学校職員一同、学生を支援していきたいと思っております。

看護学校 教員：三上 杏奈

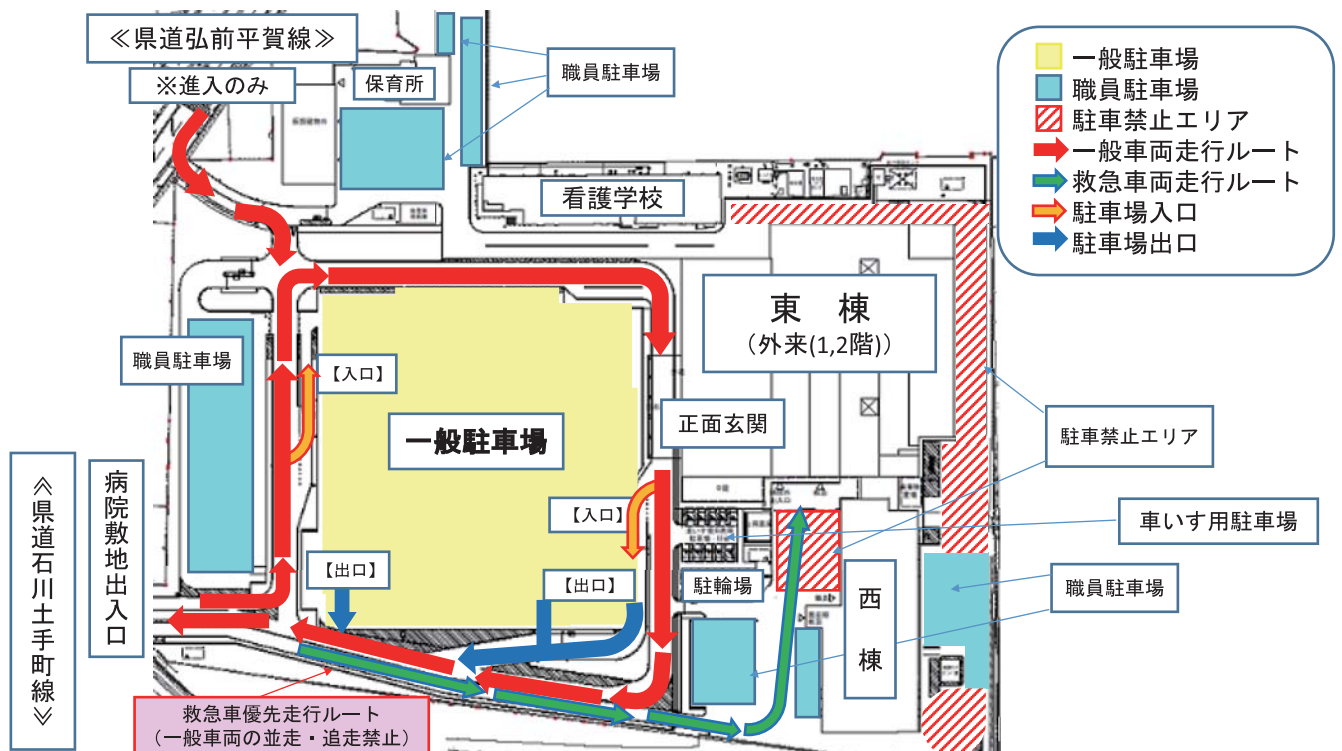


当院へのアクセスと駐車場の利用について

当院にお越しの際は、下図にお示したとおり、県道石川土手町線及び県道弘前平賀線の2方向からお越しいただけますのでご利用ください。

ただし、県道弘前平賀線は進入のみで、お帰りの際は県道石川土手町線側のみ通行可能となりますのでご注意ください。

また、外来受診等によりお越しの際は下図矢印のとりの進行方向となりますのでお知らせいたします。なお、駐車場利用におきましては大変ご不便をおかけしておりますが、春先よりアスファルト舗装等の工事が再開しておりますので、工事の進捗状況により下図で示した走行ルートや駐車可能場所が変更となる場合がありますのでご理解とご協力をお願いいたします。



初期臨床研修医を迎えて

今回基幹型施設として10名、弘前大学関連施設として1名計11名の新たな初期研修医を迎えることとなりました。2年次の10名と合わせて21名の初期研修医が集うこととなります。

ここ弘前を中心とした津軽地域において、当院は研修教育施設として大学と連携しつつ、より総合的・全人的な医療、より地域に密着した形での医療を行うことが求められています。

後期研修医制度が専門性の高い研修であるのに対して、それ以前の卒後2年間で初期研修医制度であり、初期対応、救急医療の研鑽を積むことが指針で示されています。

コロナ禍は、診療面のみならず、学会や教育の場面でも大きな影響があったことは否めませんが、新中核病院としてスタートして1年になり、新設診療科も含め、診療内容はより充実したものとなりつつあります。同時に教育研修の場として、指導医も含め互いに切磋琢磨し、よりよい医療につながるよう努力して参る所存です。

皆様方のご理解・ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

臨床研究部長：石黒 陽



研修医便り

いつもお世話になっております。研修医2年目の加藤翼です。研修が始まって1年が経ちましたが、日頃から多くの方々の支えで成長させていただいておりますことをまずこの場をお借りして感謝申し上げます。

ここでは過去の同期挨拶にならって出身地についてお話し致します。自分の生まれは埼玉県で、ご存知のように特に何も無いのが特徴の県です。映画でも取り上げられておりますが、よくネタ扱いされてしまう海なし県です。また埼玉県民は良くも悪くも故郷愛がほとんどないことも特徴かもしれません。中身の無い紹介となってしまいましたが、どうかこれからも埼玉のことを笑っていただけますと嬉しい限りです。大学からは日々満員電車移動であった喧騒を離れ、そして現在はここ青森県で伸び伸びと研修に臨んでおります。

ご迷惑おかけすることも多々あるかもしれませんが、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

臨床研修医：加藤 翼



皆さんこんにちは。研修医2年目の中村宙哉です。初期研修も半分が過ぎ、この1年間で多くの方のご指導のおかげで4月に比べできるようにも増えて徐々に成長を感じながらも、わからないことも多く自身の未熟さに焦りを感じております。また入職してから先生やコメディカル、患者様にはいつも支えていただいております。感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、今回は私が最近買った鍋について話そうと思います。Staub(ストウブ)というフランス生まれの鍋で、最初は高級感のあるデザインに惹かれて購入しました。しかしこの鍋は機能性も抜群で密封性が高く食材から出た水分でも調理できるのが特徴です。購入してからは自炊のモチベーションが上がりカレーや鍋など作るようになりました。これからは他の料理にもチャレンジしてみたいです。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

臨床研修医：中村 宙哉

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (令和5年4月1日～)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科	午前	加藤 藤崎 武 梅 崎 仁 志 木 村 嘉 宏	梅 崎 仁 志 木 村 嘉 宏	加藤 藤崎 仁 武 梅 崎 仁 志	加藤 藤崎 仁 武 梅 崎 仁 志	花 田 賢 二 木 村 嘉 宏
	午後	藤崎 剛 仁 梅 崎 剛 仁	梅 崎 剛 仁 木 村 嘉 宏	藤崎 剛 仁 梅 崎 剛 仁	藤崎 剛 仁 梅 崎 剛 仁	田 村 賢 二 木 村 嘉 宏
呼吸器内科	午前	川本 山 中 嶋 英勝 亜佳 矢 藤崎 剛 仁	岡本 山 中 嶋 佳勝 亜佳 矢	川本 山 中 嶋 英勝 亜佳 矢	川本 山 中 嶋 英勝 亜佳 矢	川本 山 中 嶋 英勝 亜佳 矢
	午後	山下 藤崎 剛 仁 木 村 嘉 宏	山下 藤崎 剛 仁 木 村 嘉 宏	山下 藤崎 剛 仁 木 村 嘉 宏	山下 藤崎 剛 仁 木 村 嘉 宏	山下 藤崎 剛 仁 木 村 嘉 宏
消化器内科	午前	松 十 五 澤 石 樋 木 風 谷 黒 口 明 彦 徳 陽 樹	相 五 高 石 五 原 風 橋 黒 風 智 察 一 正	相 五 高 石 五 原 風 橋 黒 風 智 察 一 正	松 十 五 澤 石 樋 木 風 橋 黒 風 明 彦 徳 陽 樹	相 五 高 石 五 原 風 橋 黒 風 智 察 一 正
	午後	相 高 萩 原 智 将 原 橋 原 智 将	澤 萩 原 智 将 谷 萩 原 智 将	澤 萩 原 智 将 谷 萩 原 智 将	相 高 萩 原 智 将 原 橋 原 智 将	澤 萩 原 智 将 谷 萩 原 智 将
血液内科	午前	山 間 綿 村 岡 敦 小 敦 未 熟 児	山 間 綿 村 岡 敦 小 敦 未 熟 児	山 間 綿 村 岡 敦 小 敦 未 熟 児	山 間 綿 村 岡 敦 小 敦 未 熟 児	山 間 綿 村 岡 敦 小 敦 未 熟 児
	午後	山 間 綿 村 岡 敦 小 敦 未 熟 児	山 間 綿 村 岡 敦 小 敦 未 熟 児	山 間 綿 村 岡 敦 小 敦 未 熟 児	山 間 綿 村 岡 敦 小 敦 未 熟 児	山 間 綿 村 岡 敦 小 敦 未 熟 児
小児科	午前	岡 敦 小 敦 未 熟 児	岡 敦 小 敦 未 熟 児	岡 敦 小 敦 未 熟 児	岡 敦 小 敦 未 熟 児	岡 敦 小 敦 未 熟 児
	午後	岡 敦 小 敦 未 熟 児	岡 敦 小 敦 未 熟 児	岡 敦 小 敦 未 熟 児	岡 敦 小 敦 未 熟 児	岡 敦 小 敦 未 熟 児
消化器外科	午前	柴 田 小 笠 原 宏 一 術	赤 堤 手 術 二 術	柴 田 小 笠 原 宏 一 術	赤 堤 手 術 二 術	柴 田 小 笠 原 宏 一 術
	午後	柴 田 小 笠 原 宏 一 術	赤 堤 手 術 二 術	柴 田 小 笠 原 宏 一 術	赤 堤 手 術 二 術	柴 田 小 笠 原 宏 一 術
呼吸器外科	午前	對馬 敬 夫 烟 中 亮 毅	對馬 敬 夫 烟 中 亮 毅	對馬 敬 夫 烟 中 亮 毅	對馬 敬 夫 烟 中 亮 毅	對馬 敬 夫 烟 中 亮 毅
	午後	對馬 敬 夫 烟 中 亮 毅	對馬 敬 夫 烟 中 亮 毅	對馬 敬 夫 烟 中 亮 毅	對馬 敬 夫 烟 中 亮 毅	對馬 敬 夫 烟 中 亮 毅
乳腺外科	午前	小 田 桐 弘 毅	小 田 桐 弘 毅	小 田 桐 弘 毅	小 田 桐 弘 毅	小 田 桐 弘 毅
	午後	小 田 桐 弘 毅	小 田 桐 弘 毅	小 田 桐 弘 毅	小 田 桐 弘 毅	小 田 桐 弘 毅
形成外科	午前	阿 部 純 克 弓 憲	阿 部 純 克 弓 憲	阿 部 純 克 弓 憲	阿 部 純 克 弓 憲	阿 部 純 克 弓 憲
	午後	阿 部 純 克 弓 憲	阿 部 純 克 弓 憲	阿 部 純 克 弓 憲	阿 部 純 克 弓 憲	阿 部 純 克 弓 憲
脳神経内科	午前	片 貝 敦 洋 康 美 查 馬	清 野 中 島 康 美 查 馬	清 野 中 島 康 美 查 馬	清 野 中 島 康 美 查 馬	清 野 中 島 康 美 查 馬
	午後	片 貝 敦 洋 康 美 查 馬	清 野 中 島 康 美 查 馬	清 野 中 島 康 美 查 馬	片 貝 敦 洋 康 美 查 馬	清 野 中 島 康 美 查 馬
皮膚科	午前	大 中 是 手 術 一 術	大 中 是 手 術 一 術	大 中 是 手 術 一 術	大 中 是 手 術 一 術	大 中 是 手 術 一 術
	午後	大 中 是 手 術 一 術	大 中 是 手 術 一 術	大 中 是 手 術 一 術	大 中 是 手 術 一 術	大 中 是 手 術 一 術
泌尿器科	午前	田 中 龍 馬 徑	田 中 龍 馬 徑	田 中 龍 馬 徑	田 中 龍 馬 徑	田 中 龍 馬 徑
	午後	田 中 龍 馬 徑	田 中 龍 馬 徑	田 中 龍 馬 徑	田 中 龍 馬 徑	田 中 龍 馬 徑
産婦人科	午前	横 山 美 奈 子 花	横 山 美 奈 子 花	横 山 美 奈 子 花	横 山 美 奈 子 花	横 山 美 奈 子 花
	午後	横 山 美 奈 子 花	横 山 美 奈 子 花	横 山 美 奈 子 花	横 山 美 奈 子 花	横 山 美 奈 子 花
眼科	午前	時 苗 順 義 徳 未 来	時 苗 順 義 徳 未 来	時 苗 順 義 徳 未 来	時 苗 順 義 徳 未 来	時 苗 順 義 徳 未 来
	午後	時 苗 順 義 徳 未 来	時 苗 順 義 徳 未 来	時 苗 順 義 徳 未 来	時 苗 順 義 徳 未 来	時 苗 順 義 徳 未 来
耳鼻咽喉科	午前	西 澤 尚 雅 未 来	西 澤 尚 雅 未 来	西 澤 尚 雅 未 来	西 澤 尚 雅 未 来	西 澤 尚 雅 未 来
	午後	西 澤 尚 雅 未 来	西 澤 尚 雅 未 来	西 澤 尚 雅 未 来	西 澤 尚 雅 未 来	西 澤 尚 雅 未 来
整形外科・リハビリテーション科	午前	荒 賀 中 浅 亮 大 秀 亨	賀 中 浅 亮 大 秀 亨	竹 内 和 成 宏 秀	竹 内 和 成 宏 秀	竹 内 和 成 宏 秀
	午後	荒 賀 中 浅 亮 大 秀 亨	賀 中 浅 亮 大 秀 亨	竹 内 和 成 宏 秀	竹 内 和 成 宏 秀	竹 内 和 成 宏 秀
救急科	午前	江 村 真 祐	江 村 真 祐	江 村 真 祐	江 村 真 祐	江 村 真 祐
	午後	江 村 真 祐	江 村 真 祐	江 村 真 祐	江 村 真 祐	江 村 真 祐
歯科口腔外科	午前	江 村 真 祐	江 村 真 祐	江 村 真 祐	江 村 真 祐	江 村 真 祐
	午後	江 村 真 祐	江 村 真 祐	江 村 真 祐	江 村 真 祐	江 村 真 祐
放射線科	午前	川 口 英 夫 (午 後)	川 口 英 夫 (午 後)	川 口 英 夫 (午 後)	川 口 英 夫 (午 後)	川 口 英 夫 (午 後)
	午後	川 口 英 夫 (午 後)	川 口 英 夫 (午 後)	川 口 英 夫 (午 後)	川 口 英 夫 (午 後)	川 口 英 夫 (午 後)
特殊外来 (予約)	午前	杉 本 菜 穂 子	杉 本 菜 穂 子	杉 本 菜 穂 子	杉 本 菜 穂 子	杉 本 菜 穂 子
	午後	杉 本 菜 穂 子	杉 本 菜 穂 子	杉 本 菜 穂 子	杉 本 菜 穂 子	杉 本 菜 穂 子

※ 血液内科は、水曜日は再診のみ
 ※ 発達外来は、第1・第3火曜日となります。
 ※ 未熟児フォロー外来、慢性外来、神経外来は医師が交代で担当します。
 ※ 呼吸器外科は、いずれかの医師の診察となります。
 ※ 乳腺外来は、原則予約患者のみ。当日急ぐ場合は応相談。
 ※ 木村医師の診察は13時～16時です。
 ※ 大熊医師・嶋村医師・片貝医師の診察は13時30分～16時です。
 ※ 毎週火曜日午後及び毎月第3金曜日は是川医師が不在となります。

※ 毎週水曜日は中島医師が不在になります。
 ※ 産褥健診は11時30分～12時です。
 ※ 眼科の診察は9時30分からとなります。
 ※ 耳鼻咽喉科は、水曜日の外来診察は行いません。
 ※ リハビリテーション科は、木曜日午後は藤田医師、松田医師が交代で診察、水曜日以外は整形外科医師の診察となります。
 ※ 女性外来は第1・第3水曜日の午後です。
 ※ セカンドオピニオン外来は第2・第4木曜日の14時～16時です。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki General Medical Center 弘前総合医療センター
 独立行政法人国立病院機構

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地
 TEL 0172-32-4311
 FAX 0172-33-8614
 URL <https://hirosaki.hosp.go.jp/>

責任者：副院長 小田桐 弘 毅